

生活指導部だより No. 4

令和5年 2月22日
都立品川特別支援学校長
松井 栄人
担当：生活指導主任
赤荻 浩之

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
今年度も残すところ1ヵ月となりました。次年度も新型コロナウイルス感染症防止に配慮しながら、日頃の安全・安心な学校生活のための安全指導や環境整備、災害に備えた避難訓練等の防災教育、スクールバスの円滑で安全な運行に継続して取り組んでまいります。次年度も御理解と御協力をお願いいたします。

校内の安全について

○ カーブミラーの設置・右側通行の励行



廊下の角での出会い頭の事故予防のためにカーブミラーを設置しました。校内の移動は、右側通行など交通ルールの基本を日頃から指導しています。

スクールバスの利用に関するお願い

1 災害時やトラブル時のスクールバスの位置情報把握のためのGPS活用に関して

4月からスクールバス全車に大地震等、スクールバスへの救援が必要なときに、学校だけでなく保護者のスマートフォン等でもバスの位置情報を把握できるGPS機能の運用を開始する予定です。詳細は、後日、お知らせを配布いたします。

2 保護者の皆様へのお願い

- 欠席等でスクールバスに乗車しない場合は、必ず学校とスクールバス運行会社営業所と両方へ御連絡ください。御協力を御願いたします。
- バス停には、発車時刻5分前集合を御願いたします。(消毒やシートベルト装着等、安全のための作業があります。)
- 下校方法の確実な伝達(連絡帳への記載、バス添乗員への連絡)を御願いたします。
バス下校なのか、放課後デイサービス等のお迎えなのか不明な場合があり、確認のためバスが定刻に発車できないケースがあります。放課後デイサービス等のお迎えの場合、学校引き渡しか、バス停引き渡しなのかもお伝えください。また、下校便の到着時刻の確認をしてください。
- スクールバスに関するお問い合わせは、バス会社ではなく、学校(担任)までお知らせ下さい。

【 裏面もあります 】

防災コラム【ハザードマップから見る品川特別支援学校】

●本校所在地、南品川6丁目の災害危険度

平成30年度東京都「地域危険度測定調査」より（危険度①低い～危険度⑤高い 5段階評価）

☆建物倒壊危険度② ☆火災危険度③ ☆災害時活動困難度① ☆総合危険度①低い

●地震・液状化・津波

地震の震源や規模により震度5強～震度6弱の揺れの可能性はありますが、比較的古い年代の固結した洪積層からなる台地で、揺れが増幅しにくく、学校所在地の液状化ハザードはなし。

※津波の想定はなし。学校所在地海拔約12m、大津波対応は、4階グラウンド（約21m）への避難。

●水害

「内水氾濫」のハザード有。想定最大規模降雨時（時間最大降雨量153mm）時に、1階の一部50cm～1m未満の浸水の恐れ。発生時は、校舎2階以上への「垂直避難」で対応、止水板の配備等。

※「内水氾濫」とは、都市部などに大量の雨が降り、水量が下水道や排水施設の処理能力を上回り、市街地にあふれ出す現象。

※「想定最大規模降雨」⇒1000年に1回程度の豪雨（確率0.01%）

【まとめ】

本校所在地は、ハザードマップでは、比較的安全な地域とも言えますが、「ハザードマップは危険な地域を示すが、安全を100%保障するものではない」という構えで、様々な想定での訓練を実施し、今後も児童・生徒の安全確保、防災教育に取り組んでいきます。御家庭でも、お住まいの地域のハザードマップを御確認いただき、有事の際の避難や備えについて、準備されることをお勧めいたします。（区役所のホームページで確認できます。）